

只見高校・卒業式



▲佐竹校長から卒業証書を受け取る菅家友香さん



▲感謝の答辞を述べる新國潤平さん



▲拍手の中退場する卒業生

3月1日、只見高校の卒業式が行われ、35名（内、山村教育留学生13名）が卒業しました。

卒業式では、佐竹正徳校長が卒業生代表の菅家友香さんに卒業証書を手渡し、菅家町長などが祝辞を贈りました。

在校生代表の伊藤彩加さん（2年）が「先輩たちの活躍を応援しています」と送辞を述べ、卒業生代表の新國潤平さんが「只見高校で過ごした日々を支えに、これから頑張っていきます」と答辞を述べました。

卒業生は在校生や保護者などの拍手の中、学び舎を後にしました。

只見の未来を担う子どもたち

学び舎を巣立つ

只見中学校・卒業式



▲感動に溢れた式歌「旅立ちの日に」を歌う卒業生30名

3月13日、只見中学校の卒業式が行われ、30名が思い出を胸に旅立ちました。

横山泰久校長が卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡し、「素直な気持ちを忘れず、自身を磨くための努力を一步ずつ続けてください」と式辞を述べ、卒業生代表の酒井香苗さんが「私たちは自然豊かなこの学び舎で過ごした思い出と誇りを胸に、新たな舞台へと進んでいきます」と感謝の答辞を述べました。



▲思い出と感謝を伝える酒井さんの答辞



▲横山校長から卒業証書を受け取る卒業生

つ続けてください」と式辞を述べ、卒業生代表の酒井香苗さんが「私たちは自然豊かなこの学び舎で過ごした思い出と誇りを胸に、新たな舞台へと進んでいきます」と感謝の答辞を述べました。

明和小学校・卒業式



▲穴澤校長から卒業証書を受け取る酒井駿さん



▲別れを惜しみながら「6年分のありがとう」を歌う卒業生



▲家族に花を手渡し感謝を伝える卒業生

3月22日、町内各小学校の卒業式が行われ、只見小9名、朝日小16名、明和小17名の卒業生が学び舎を巣立ちました。明和小では、卒業生一人ひとりが穴澤正志校長から卒業証書を受け取り、「将来は医者を目指したい」「プロサッカー選手になりたい」などと将来の夢や中学校生活の抱負を発表しました。別れの言葉では、卒業生が仲間、家族、先生方に対する感謝の言葉「6年分のありがとう」を歌と言葉で伝えました。

卒業式と満了式

只見保育所・満了式



▲保護者の前で感謝の気持ちを伝える満了児



▲別れの言葉を伝える満了児3名

3月25日、町内各保育所で満了式が行われ、只見保育所3名、朝日保育所5名、明和保育所5名のさくら組園児が満了を迎えました。只見保育所では、保育証書を受けとった満了児がお父さんとお母さんのもとへ歩み寄り、



▲花束を手に退場する満了児



▲保育証書を受け取る満了児

り、「いつも遊んでくれてありがとう」などと感謝の気持ちを伝えました。満了式後には、たんぽぽ、ひまわり、さくら組による縄跳びや歌などの発表会が行われ、成長した姿を披露しました。